

3月の相談日です。  
日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っ  
たり疑問に感じていることはありませんか。  
そんなあなたからの声に応えるための各種無料相談窓口  
を紹介しします。  
秘密は厳守されますので、ひとりで解決しようとせず、  
まずは相談してみてもいいですか。



静岡県産の茶葉マスコット  
チャーマイン

\*市民相談センターは、市役所棟原庁舎北側の就業改善センター2階にあります。

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、  
分からないことなどの相談を受け  
付けます。困ったらまずは相談を。

期日 月曜日～金曜日  
時間 9:00～16:00  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088

消費生活相談

契約トラブルや消費者金融、多重  
債務、商品苦情など、消費や契約  
に関する相談を受け付けます。

期日 月曜日～金曜日  
時間 9:00～16:00  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務  
や債務整理などの法律解釈や手続  
き、人権に関する相談などを無料  
で受け付けます。弁護士、行政相  
談員、人権擁護委員が1回30分  
で対応します。  
相談時には、参考となる書類など  
を持参してください。  
相談を受けるには、当日電話予約  
が必要です。

期日 3月7日(金)・21日(金)  
時間 10:00～12:00  
13:00～15:00  
会場 市民相談センター  
予約 8:30～  
\*当日電話予約のみ

☎市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金  
銭貸借などの紛争解決。司法書士  
と民生委員が対応します。

期日 3月14日(金)・28日(金)  
時間 9:00～11:30  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088

行政相談

行政相談員が、行政に対する苦情  
や要望などの相談を受け付けます。

期日 3月7日(金)・21日(金)  
時間 10:00～12:00  
会場 市民相談センター

☎市民相談センター ☎0088

税の無料相談

税務・会計など税に関するあらゆる  
相談に無料で応じます。  
事前予約が必要となります。

期日 3月21日(金)  
時間 13:30～15:30  
会場 市民相談センター  
☎東海税理士会島田支部 ☎0547-6575

在宅介護相談会

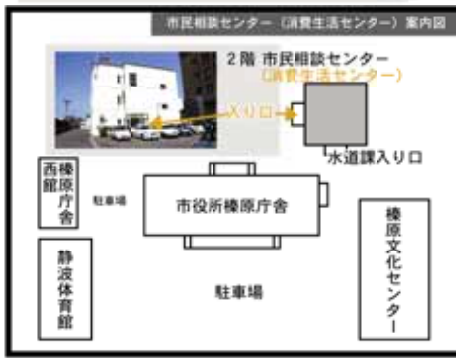
榛原総合病院に入院または受診さ  
れている人とご家族を対象に、市  
地域包括支援センターの職員が榛  
原総合病院へ出向いて「退院後の  
在宅介護」や「介護保険制度」に  
関する相談に応じます。  
相談を受けるには、予約が必要と  
なります。(\*当日空きがあれば、  
随時相談可能です)

期日 3月6日(金)  
時間 9:30～11:30  
会場 榛原総合病院  
患者支援センター25番  
☎榛原総合病院患者支援センター  
☎7301  
地域包括支援センターオリーブ  
☎8822  
地域包括支援センターさがら  
☎1900

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思っ  
たときの相談です。事前に問い合  
わせをして、気軽に相談ください。

期日 3月16日(金)  
時間 13:30～16:00  
会場 相良保健センター  
☎地域包括支援センターさがら ☎1900



\*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

巡回交通事故相談

県交通事故相談所の専門相談員が、  
交通事故に関する相談に応じます。  
事前予約が必要です。

期日 3月8日(金)  
時間 10:00～15:00  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088



FOR THE PATIENTS

今月は  
検査科  
を紹介しします

検査科は現在、臨床検査技師11人が勤務してあり、北館1階売店の隣にある生理検査室と南館2階工スレタを上がった所にある検体検査室で、日夜、診療の補助を担っています。

生理検査室では

一番多い検査は心電図。胸の上から心臓の周りに電極を付けて、心臓を動かすために生じる電気が広がっていく様子を波形にして、さまざまな症状を捉えます。一日中、体に付けるホルター心電図や、数分間、動くベルトの上を歩きながら心電図



腹部エコー検査

を見るトレッドミルというものもあります。次は超音波検査。エコーと呼ばれる。これは、魚群探知機のように超音波を放射して、物の性質によって跳ね返り方が違うことを利用し、体の内部臓器の形や血液の流れを調べます。そして肺機能検査。マウスピースを加えて息を吸ったり吐いたりします。そのほか、耳の聞こえを調べる聴力(オーディオ)、頭にたくさん電極を付ける脳波や、手足の指の神経の伝わる速さを調べる誘発筋電図などがあります。どれも技師が説明しながら検査しますので、安心して受けてください。

検体検査室では



生理検査スタッフ(後列左端が永谷副技師長)

予約外来診察に来て、一番先に寄ることの多い採血室。患者さんから血液を採ったり、尿を出してもらいます。ここでは、最初に入ってくる器械に診察券を入れて受付していただき、操作が分かりにくい場合は、お気軽に職員に声を掛けてください。受付後、番号順にお呼びして採血します。取り違いを防ぐために何度も名前をお伺いしています。面倒に思われるかもしれませんが、ご協力をお願いします。なるべく痛くなく、手際よく採血できるように、私たちはがんばっています。私たちががんばっているように、細かい患者さんには一度でできないときもありません。患者さん



血液検査

検体検査室には、血液を器械にかける以外に、細菌・病理・輸血を担当する部署があります。細菌検査は患者さんから出た尿や便、喀痰などにどんな菌がいるのか調べ、どんな薬が効くのか調べます。病理検査は悪い

から、「痛くなかったよ、上手だね」などと言われると、とてもうれしく、ほっとします。採血された血液を入れた試験管は奥の検査室に運ばれ、試験管の種類ごとにそれぞれの器械にかかります。血液の濃さ、炎症の有無、血糖、肝臓や腎臓の機能、時には癌特有の物質などの数値も調べます。医師の指示によって調べる項目が違ってきます。



検体検査スタッフ(後列右端が兵頭医師 前列左から2番目が増田副技師長)

外来や病棟、それぞれの職種の人たちと助け合い、また来たい病院と、思っていただけのようにがんばっていきます。副技師長 増田好乃

細胞が出ていないか、手術でとったところに癌があるかないかなどを調べます。輸血検査は血液型を調べ、輸血しても大丈夫な血液を用意します。また、血液センターから取り寄せた血液を院内に備蓄しています。このように検査科は、直接患者さんと接する職場です。検査が多くて、患者さんを待たせてしまう事もあります。スタッフ皆で協力しています。そして元氣よく、にこやかに患者さんと接していくように心掛けています。